東京都立葛西南高等学校　令和5年度　国語表現　年間授業計画
教科：（国語 ）科目：（国語表現）単位数：（2　）単位　対象：（第 3学年　1組～6組）

教科担当者：2組3組4組5組6組　銘苅奈苗　1組4組6組　岡﨑俊彦　1組2組3組5組　家田幸治

使用教科書：国語表現（大修館書店）
使用教材：国語表現基礎練習ノート（大修館書店）

	指導内容 【年間授業計画】	国語表現の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
4月	1　整った文を書く	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	4
	2　わかりやすい文を書く	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
5月	3　文のつなぎ方	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	2
	4　絵や写真を見て書く	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	・ワークシート（関・書・読）・発表（話） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	2
	表現への扉　1	・書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に生かす。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
6月	小論文とは何か	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	・ワークシート（関・書・読）・小論文（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
	反論を想定して書く	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	・ワークシート（関・書・読）・作品（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
	資料を読み取って書く	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	・ワークシート（関・書・読）・作品（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
7月	自分を見つめて	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	・観察（関） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	効果的な自己PR	・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	・観察（関） ワークシート（関・書・読） ・小論文（書） ・発表（話） ・相互評価、自己評価（書・読）	2

	指導内容 【年間授業計画】	国語表現の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
9月	志望動機をまとめよう	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	・観察（関） ワークシート（関・書・読） ・小論文（書） ・発表（話） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	面接にチャレンジ	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。	・観察（関） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	表現への扉　3	・働くことや将来の夢についての文章を読み、自らの進路について考える。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	2
10月	レポートを書く	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	・ワークシート（関・書・読）・小論文（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
	論文を書くために	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	・ワークシート（関・書・読）・小論文（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	3
	表現への扉　2	・現代社会に関する文章や資料を読み取り、それに対する自分の意見をまとめる。	・ワークシート（関・書・読）・小論文（書） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	2
11月	言葉のストレッチ体操	・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。	・観察（関） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	リーダーズシアターを開こう	・文章の内容に応じてふさわしい声の使い方を工夫し、効果的に朗読する。	・観察（関） ・発表（話） ・ワークシート（関・書・読 ・相互評価、自己評価（書・読）	3
	ショートスピーチをしよう	・話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	・観察（関） ・発表（話） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読）	3

	指導内容 【年間授業計画】	国語表現の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
12月	表現への扉　５	・コミュニケーションについて書かれた文章を読み、自らの表現に生かす。	・ワークシート（関・書・読） ・小テスト（知） ・定期テスト（知・書）	2
	相手や場面に応じた会話	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	・観察（関） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
1月	議論して結論を出す	・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	・観察（関） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	プレゼンテーションの工夫	・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	・観察（関） ・発表（話） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読）	2
	表現への扉　６	・文章を読み、考えたことについて議論をしたり発表をしたりする。	・観察（関） ・発表（話） ・ワークシート（関・書・読） ・相互評価、自己評価（書・読） ・定期テスト（知・書）	3